



しなやかに まっすぐに

10月1日より緊急事態宣言が解除され、気持ちが少しばかり晴れやかになってきています。しかし、第5波といわれていた猛威が、どうして収まりの方向となっていたか明確ではなく、まだまだ予断を許しません。こうしたコロナに限らず、これからもいろんなことが起き、どう生きていくか、時代の流れを受け止める必要があると痛感します。様々な風が吹いてくることに対し、しなやかに柔らかく応じながらも根っこはしっかりと張って、まっすぐに伸びる竹のように柴山っ子が成長していくよう頑張っていきます。

力を合わせて

観客制限を昨年より厳しくしながら9月19日(日)に運動会を開催しました。18日(土)予定でしたが、台風の心配があり、1日延ばしての実施となりました。間を開けることになりましたが、子どもたちは、元気いっぱい競技に演技に頑張りました。昨年と同じように種目設定をするなか、数は少なくとも柴山っ子全員でするものをと考え、玉入れを増やし幼稚園児と小学生がひとつになり、赤白対抗で競いました。そして、小学生全員による「ソーラン節」もバージョンアップしました。昨年は全校生となると、低学年が短期間で踊りを覚えるのに大変と考えましたが、今年は、縦割り班を単位として、全員で踊りを覚え、挑戦しました。全体練習は、あまり時間が取れないなか、大休憩などを利用して、縦割り班ごとにスケジュールを組み、練習しました。高学年がやさしく低学年に教えている姿、それにうなずきながら一生懸命応えようとする低学年の前向きな姿勢に感動しました。なかには、9月の「10じつの日」に兄弟姉妹で、家で練習をしている子どもたちもいたようです。当初は、全校生が法被(はっぴ)を着て踊ろうと考えていましたが、コロナ感染が進み、無観客で運動会を実施という最悪の事態も想定し、法被はあきらめました。しかし、衣装がなくても、当日は保護者の方へ、空に向かって掛け声を放ち、力強い演技を披露することができ、感動を与えることができたのではないのでしょうか。子どもたちの頑張りに大きな拍手をいただきました。



離れていても

教育の新しい流れの中で、GIGA スクール構想というものがあります。

GIGA は、Global and Innovation Gateway for All の略で、「全ての人にグローバルで革新的な入り口を」という意味が込められています。これからの社会は、国という枠を越え、世界という共通のステージで生きていき、様々な情報を瞬時に多く発信や受け止め、どうよりよく生きていくかを自分で考え、仲間とともに歩いていかなければなりません。その学びを進める「ひとつの文房具」として情報端末を日本中の子どもたちに整備する構想が GIGA スクール構想です。それが全国的な新型コロナウイルス感染拡大への不安から、早期整備が進み、一人1台のタブレット端末が使えるよう準備を整えていただきました。



昨年の4月から5月にわたる全国一斉の臨時休業は、大衝撃でした。子どもたちにとって1日中、家庭だけの生活は、大きなストレスとなったと思います。私たち教員も、学びを止めることに大きな不安を持ち、できることを模索しました。もし、これから不測の事態が起き、子どもたちの安全のため、学校へ通うことができない時、学びを止めないためのツールとして、一人1台のタブレット端末を利用することは重要であると考えます。今、各学年が授業でタブレット端末を利用する工夫をしています。また、職員もテレビ会議（遠隔コミュニケーション）をどのように進めるか、家庭にいても学習ができるよう教材をどう発信するかなど研修しています。15日（金）に子どもたちがタブレット端末を持って帰り、接続テストを行わせていただきます。どんなことができるかお家の人も一緒に見てください。低学年は、お家の方の協力が必要です。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ほっこり あったか 校長室



人のいいところ、優しくしていただいたことを伝える「スマイルの花」が各教室の前に貼られていますが、校長室にも1年生が届けてくれました。ありがとう!! また、先日、6年生全員が、校長室へ「てるてる坊主」を届けてくれました。昨年の6年生からもプレゼントされました。今年も、「雨が降らないように」と、自然学校前にプレゼント。あったかな気持ちにありがとう!!



10月29日（金）学校版教育環境会議

14：35～：体育館

子どもたちの学校園における様子を保護者、地域の方々にお示し、その様子から感じたことのお声を聴く機会として、学校版教育環境会議を開かせていただきます。お時間を作っていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

（文責 中田 斉）